

調べてみよう！ マイクロプラスチック市民調査

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

調査研究

市民調査実施か所数 **42か所**報告会参加者数 **36人**今年度計画の達成度 **75%**目標達成度 **85%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響で、人が集まることを避ける必要があったり、感染者数の多い東京から遠方への移動を控えざるを得ず、予定していた活動ができない状況がずっと続いた。

■工夫した点

会合は対面からオンラインへの切り替えや、回数を減らして対応した。報告会は、調査参加者中心のものとすることで、調査の感想や今後の展望が深く共有できた。



報告会で展示した全国の調査地点を示す地図

課題

マイクロプラスチックへの関心は高まっているが、市民調査の手法が整っていない。分析、比較、実態把握などができるように市民調査手法を整えることが必要。

目標

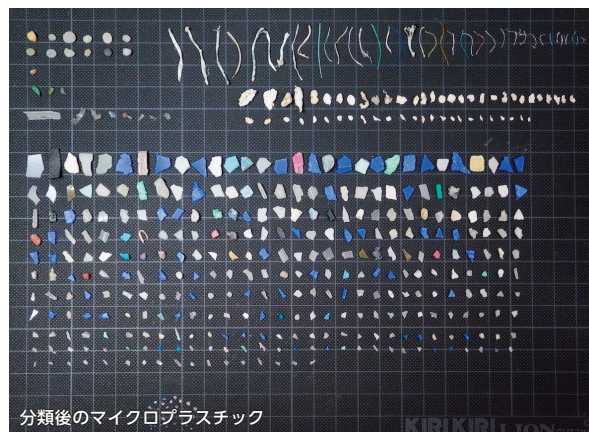
海洋ごみに関心を持つ市民が、マイクロプラスチック調査を通じて、プラスチックによる海洋汚染の実態を知り、プラスチックの使用量削減の重要性に気づく。

活動内容と成果

市民調査と補完調査を継続して実施し、追加実施は11か所となった。そのうち4か所では、ポリマー分析用の試料も採取し、研究者に託すことができた。報告会はオンライン配信のみでの開催ではあったが、調査を行った市民団体と、調査手法についての助言をもらった研究者が出席し、専門家の視点から市民調査の意義についてのコメントも得られ、調査実施者一同にとって今後の継続への励みとなった。一部実施できなかったイベントもあったが、活動全体の記録集を作成でき、本活動の紹介資料として活用できる。



調査を行った海岸全体の様子



分類後のマイクロプラスチック

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルス禍の影響が大きく、調査地点数が目標に達しなかったことは残念であったが、調査手法を専門家の助言もいれて整えることができたこと、気軽に調査ができるように貸出用器具キットをそろえられたこと、専門家との連携体制が維持継続できることなどは、市民調査を続けていくための基盤となると思う。25cm四方という小さな枠内でも、多数のマイクロプラスチックが見つかる海岸の実態を、啓発活動に役立てていきたい。

〒185-0021
東京都国分寺市南町3-4-12-202
E-mail: cleanup@jean.jp
HP: <http://www.jean.jp>



今後の展望

JEANでは、通年で全国クリーンアップキャンペーンを展開しており、多くの会場ではごみを拾うだけではなく調査も実施している。実施期間を区切ってマイクロプラスチックの調査も呼びかけ、広範囲で海岸等のマイクロプラスチックの状況を把握し、結果を改善のために発信していく予定である。